

製品名: PRKAA1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80955**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAA1
別名	AMPK; AMPKa1; MGC33776; MGC57364; PRKAA1
遺伝子 ID	5562.0
SwissProt ID	Q13131
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRKAA1 の精製された組み換え断片。

背景

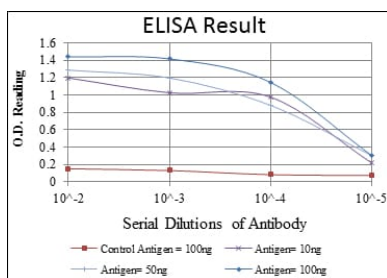
このタンパク質はセリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーに属し、5'-プライム AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の触媒サブユニットです。AMPK は、すべての真核細胞に保存されている細胞エネルギーセンサーです。AMPK のキナーゼ活性は、

細胞内のAMP/ATP比を上昇させる刺激によって活性化されます。AMPKはリン酸化を介して、いくつかの主要な代謝酵素の活性を制御します。ATPを消費する生成経路を遮断することで、ATP枯渇を引き起こすストレスから細胞を保護します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。

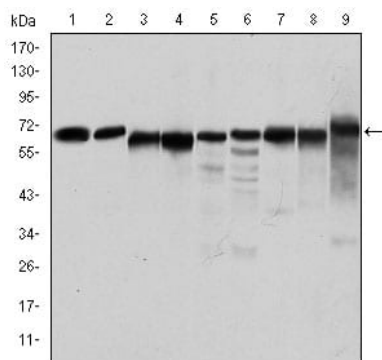
研究分野

オートファジー、Wntシグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路

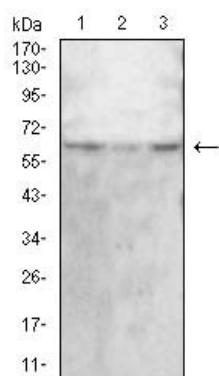
画像データ



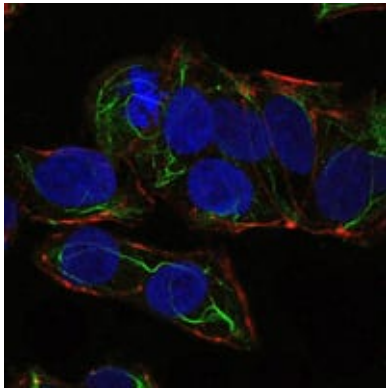
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



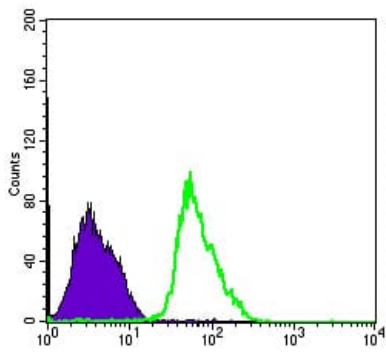
PRKAA1 マウス mAb を用いた Jurkat (1)、Hela (2)、HepG2 (3)、MCF-7 (4)、Cos7 (5)、NIH/3T3 (6)、K562 (7)、HEK293 (8)、および PC-12 (9) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



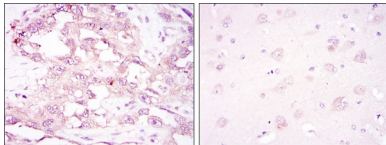
COS7(1)、C2C12(2)、NIH/3T3(3)細胞溶解物に対する PRKAA1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



PRKAA1 マウス mAb (緑) を用いた NTERA-2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PRKAA1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した PC-2 細胞のフローサイトメトリー分析。



PRKAA1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト卵巣癌 (左) および脳組織 (右) の免疫組織化学分析。